

広報たかなべ

1

January 2019

No.416

祝 成人

感謝を胸に 新たな門出



平成三十一年 新年のごあいさつ



高鍋町長 黒木 敏之



新年、明けましておめでとうございます。本町におきましても、台風24号の襲来により、激しい風雨が集中し、土砂崩れや倒木による道路の通行不能、電柱の倒壊による長期の停電、床上浸水、家屋、農業施設の損壊、農地や農作物被害等、大変大きく広範囲な災害となりました。被災された皆様には、夢と希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃から町政運営に対する理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。さて、昨年は、国内において、豪雨、地震、台風と、自らの皆様におかれましては、夢と希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

皆様には心からのお見舞いを申し上げますと共に、昨今の地球温暖化による異常気象での災害規模の拡大は今後の大きな課題であり、改めて、町民の皆様の安心・安全の確保と災害への備えや対応の重要性を強く認識した次第でし

た。I、IOT等、世界は技術によって加速度的に変化しています。社会基盤、産業構造、世界経済は急激な変化を遂げ、私たちの生活や仕事、価値観をもさらに大きく変えようとしています。

本年、高鍋町は、福祉の充実、企業誘致、農産品のブランド化、6次産業化、高鍋駅に配布し、町民の皆様のご意見を反映させ、「まちの未来を

活躍される企業であるエイムセクターであった株式会社高鍋めいりんの里の温泉経営を誘致協定、株式会社明光社様とのドローン活用協定、第三セクターであるエイムセクターであつた株式会社高鍋めいりんの里の温泉経営を株式会社メモリード宮崎様へ譲渡できたこと等、新たな地域開発の可能性が生まれたと共に、県内町村では初のキヤリア教育支援センターを高鍋商工会議所内に設置し、職業経験による学校教育の充実を図り、さらに、第6次総合計画前期基本計画「高鍋みらい戦略」の小冊子を町民の皆様に配布し、町民の皆様のご意見を反映させ、「まちの未来を

みんなでつくろう」「自分の町は自分たちで形づくらる」という協働意識の醸成に努めました。

2019年、元号も変わる年を迎え、時代はさらに革新を遂げようとしています。A.I、IOT等、世界は技術によって加速度的に変化しています。社会基盤、産業構造、世界経済は急激な変化を遂げ、私たちの生活や仕事、価値観をもさらに大きく変えようとしています。

本年が皆様方にとりまして幸多き年でありますことをご祈念申し上げます。

高鍋町議会

議長 青木 善明



新年、明けましておめでとうございます。平成31年の年頭にあたり、町議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。町民の皆様におかれましては、夢と希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

は、新たな抱負を胸に新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より町議会に対し、温かいご理解とご協力を賜り、議員一同心より御礼申し上げます。

昨年の漢字が「災」（日本漢字能力検定協会）に選ばれたように、全国各地で、地震や豪雨、台風など、自然災害が多く発生した年であります。本町でも、9月末に襲來した台風24号の暴風雨によって、床上・床下浸水、住家等の建物損壊、土砂崩れや倒木による道路の崩壊、農作物や農業施設への被害など大きな爪痕を残しました。被災

された皆様には心からお見舞い申し上げます。私たち議員も被害状況や今後の対策などにしつかり目を向けながら一日も早い復興に向けて全力で取り組んでまいります。

今年は、新天皇が5月に即位され、平成から新たな元号の始まりの年となり、変革の時代を迎えるとしています。本町においても、宮崎キヤノン株式会社の新工場建設が順調に進行しており、本年中に操業開始されるなど、ここ数年で複数の企業が立地しましたことにより、本町の産業、経済に多大に寄与するものと期待しているところでござい

ます。

さて、昨年11月には町議会議員選挙、12月には宮崎県知事選挙と皆様におかれましては、年末になつての選挙で大変慌ただしい日々を送られた

し上げますと共に、本年が穏やかな良い年になります。よう、皆様のご健勝とご繁栄を心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

本年が皆様方にとりまして幸多き年でありますことをご祈念申し上げます。



の経営革新、高鍋城址の整備、藩校サミット・秋月種茂公没後200年シンポジウム、道路整備、まちなみ再生、起業家養成、観光イベントの充実等の課題を再確認し、選択と集中による中長期的な計画を含め改革を推し進めながら、「豊かで美しい歴史と文教の城下町・高鍋の再生」に向けて取り組んで参ります。皆様方の積極的なご支援ご協力ををお願い申し上げます。

本年が皆様方にとりまして幸多き年でありますことをご祈念申し上げます。



～ワークショップで出たアイデアの一部～

- ・売店やコンビニ、カフェ、本屋等の設置
- ・フリーWi-Fiへの接続が可能な設備
- ・季節ごとのイベントを行うなど



12月15日、JR高鍋駅の大掃除を実施しました。参加していただいたのは、高鍋高校と高鍋農業高校の生徒、先生、蚊口地区住民の方など、総勢約60人。長年積もったススを払うと、駅舎内外の壁が明るくなりました。

大掃除の後は、宮崎産業経営大学のご協力のもと、未来の駅について話し合うワークショップを実施。「高鍋駅の可能性」について、楽しく話し合いました。高校生から出たアイデアは大人だけで話し合うと出てこないようなものが多くありました。今回のイベントを皮切りに、今後の駅活性化に向け前進していきます。

高鍋町消防団の皆さん、いつもありがとうございます

1月6日、小丸川河川敷運動広場で平成31年消防始式が行われました。今年は県の防災ヘリ「あおぞら」との合同発水試験なども行われました。成績は次のとおりです。

◎消防始式の部

- 第1位 第10部
- 第2位 第9部
- 第3位 第13部

◎年間機庫点検の部

- 第1位 第10部
- 第2位 第12部
- 第3位 第4部

◎優秀指揮者の部

- 第8部部長 幸妻 敬大
- 第10部部長 岩元 学
- 第12部部長 甲斐 寿徳



◆お問い合わせ: 総務課 生活安全係 ☎0983-26-2001



地域防災マネージャーコラム VOL.2

今回のテーマ 『大地震！そのとき家具は？』

南海トラフ沿いの大規模地震(M8からM9クラス)が30年以内に発生する確率は、70~80%と言われています。大地震のとき、家具はどうなるでしょう？

テレビなどを含めて、家具は「倒れ」ません。家具は「飛んで」来ます。インターネットで「地震 家具 倒れる」などで動画を検索してみてください。いかに家具が危険か、お分かりいただけると思います。

地震の際、家具によるケガなどを防ぐためにも、「転倒防止策」をしましょう。